

Ⅱ 利用上のご注意

1. 以下の例に掲げるようなケースでは、意図した集計とならない場合があります。

例1：20日〆月末支給で、締日～支給日の間で退職する場合

☆：支給日、▲：退職日

5/20		6/20	7/20	2万円	8/20
	☆5/31、21万円	☆6/30、22万円	▲7/25 退職		☆7/31、23万円

この例で、「7/21～離職日（7/25）」の勤務分に対する賃金を20,000円とした場合、次の(1)～(3)いずれかのパターンで支給されと考えられます。

- (1) 7/31の支給（6/21～7/20勤務分）に加算して支給する。
- (2) 退職した方のみ、退職日もしくは退職日後に別途支給日（例えば8/5）を登録して支給する。
- (3) 翌月（8/31）に支給する。

各パターンにおける集計内容と注意点は以下のとおりです。

(1) 7/31の支給（6/21～7/20勤務分）に加算して支給する。

①システムの集計内容

「7/21～離職日」の20,000円は7/31支給の賃金に含まれるため、「6/21～7/20」の行がその分多くなります。一方、「7/21～離職日」の行は空欄となります。

行	賃金計算期間	賃金額
1	7/21 ～ 離職日	
2	6/21 ～ 7/20	250,000
3	5/21 ～ 6/20	220,000

（「7/21～離職日」分を含む。）

②注意点

「離職証明書」を作成する際は、「7/21～離職日」の行に、加算した「20,000」を記載し、「6/21～7/20」の行には、その分を減額した賃金額を記載してください。

(2) 退職する方のみ、別途支給日（例えば8/5）を登録して支給する。

①システムの集計内容

「7/21～離職日」分は8/5支給となりますが、8/5の支給日からみて直近の締日が7/20となるため、「6/21～7/20」の行に集計されます。「7/21～離職日」の行は、空欄となります。

行	賃金計算期間	賃金額
1	7/21 ～ 離職日	
2	6/21 ～ 7/20	250,000
3	5/21 ～ 6/20	220,000

「7/21～離職日」分を含む。

②注意点

「離職証明書」を作成する際は、「7/21～離職日」の行に「20,000」を記載し、「6/21～7/20」の行には、その分を減額した賃金額を記載してください。

(3) 翌月 (8/31) に支給する。

①システムの集計内容

8/31 の支給日からみて直近の締日が 8/20 となるため、「7/21～離職日」の行に集計されます。

行	賃金計算期間	賃金額
1	7/21 ～ 離職日	20,000
2	6/21 ～ 7/20	230,000
3	5/21 ～ 6/20	220,000

②注意点はあります。

例 2：月末×翌月 5 日支給で、曜日の関係等で支給日を前倒した場合

☆：支給日、★：本来予定していた支給日、▲：退職日

2/28	3/31	4/30	5/31
		4/25 退職▲	
☆3/5、20 万円	☆4/5、21 万円	☆	(★5/5、22 万円)
4/28、22 万円			

この例は、本来予定していた 5/5 の支給を、曜日の関係で前倒し、4/28 に支給するケースです。

①システムの集計内容

前倒した支給日 (4/28) からみて直近の締日が 3/31 となるため、「3/1～3/31」の行に集計されます。「4/1～離職日」の行は空欄となります。

行	賃金計算期間	賃金額
1	4/1 ～ 離職日	
2	3/1 ～ 3/31	430,000
3	2/1 ～ 2/28	200,000

②注意点

「離職証明書」を作成する際は、「4/1～離職日」の行に本来 5/5 支給で予定していた賃金分「220,000」を記載し、「3/1～3/31」の行には、その分を減額した賃金額を記載してください。

例 3：月末×翌月末日支給の場合

☆：支給日、▲：退職日

2/28	3/31	4/30	5/31
		4/25 退職▲	
☆2/28、19 万円	☆3/31、20 万円	☆4/30、21 万円	

①システムの集計内容

実際は、以下の 1) のように締日と支給日が対になるよう集計したいケースですが、直近の締日の属する期間に集計されるため、2) のようになります。

1) 集計 (記載) したい内容

行	賃金計算期間	賃金額
1	4/1 ～ 離職日	
2	3/1 ～ 3/31	210,000
3	2/1 ～ 2/28	200,000

2) システムで集計される内容

行	賃金計算期間	賃金額
1	4/1 ～ 離職日	210,000
2	3/1 ～ 3/31	200,000
3	2/1 ～ 2/28	190,000

②注意点

「離職証明書」を作成する際は、上記①の1)のように1行ずつ繰り下げて記載してください。

2. 上記の例以外においても、集計内容をご確認のうえご利用ください。

以上